

12月定例会審査報告

二本松市部設置条例の一部を改正する条例、一般会計補正予算等について

**問** 機構改革により、現在の事務分掌や配置の変更はあるのか。

**答** 健康増進課を市民部から保健福祉部へ変更すること、上下水道部を課にして建設部に置くこと等の変更を行うが、各課等の事務分掌に大きな変更はなく、また、庁舎における配置の変更は必要最小限に抑える予定である。

**問** 道の駅ふくしま東和及び東和活性化センターの今回の指定管理者については、何回目の指定となるか。また、指定管理者の選定における応募者へのヒアリングはどのような内容で行ったのか。

**答** 平成18年度から指定管理者による管理としてきており、今回4回目の指定となる。また、ヒアリングは、施設使用や地域振興に関する事業計画、運営予算等の内容について行った。

**問** 国民健康保険基盤安定繰出金が増額になった理由は何か。

**答** 国民健康保険税の軽減世帯が69世帯増加したためである。主に未申告であった世帯が申告したことによると思われる。

**問** 総合検診業務委託の債務負担行為<sup>\*</sup>について、総合検診の実施方法を平成31年度から変更する

狙いは何か。また、周知のスケジュールはどのようになっているか。

**答** 施設検診の早期受診、集団・施設両検診の受診録統一による変更事務手続きの軽減、個別郵送による区長等の負担軽減、事務コストの削減等のメリットがある。2月に全戸配布のチラシを配布し、広報にほんまつの3月号でも周知する。

**討議** 総合検診事業については、市民の健康に関わる重要な事業であるため、変更点について周知を図り、漏れの無いように進めるべきである。

※債務負担行為

予算の会計年度独立の原則に対する例外措置で、翌年度以降の経費の支出義務がある契約等について、その限度額・期間を議会の議決を経て定めること



机上審査の様子

行政視察報告 11月12日～14日

＜愛知県一宮市＞

「市民が選ぶ市民活動支援制度」では、活動団体が行う事業を市民が選んで投票し、その結果に応じて団体へ支援金が交付されます。投票率の低さなどの課題もありましたが、事業内容の公表や市民参加の手法について、一つの事例として、市民との協働のまちづくりに参考となるものでした。

＜静岡県浜松市＞

太陽光発電を主とした再生可能エネルギーや自家発電等の分散型電源によるエネルギーの自給率向上と地産地消に取り組んでいます。また、企業等との連携、共同出資による地域新電力会社の設立及び運営について先進事例として視察しました。

＜静岡県富士市＞

地震、風水害、火山等あらゆる自然災害を想定し防災対策を推進しています。災害時の市の業務継続計画や市民による自主防災組織の活動、情報伝達設備の整備、災害時のトイレ不足対策であるトイレトレーラーの導入など先進的な取り組みは参考とすべきと感じました。

＜埼玉県所沢市＞

エコタウン構想において、特にスマートエネルギープロジェクトを推進し、市の資産を活用した太陽光発電やバイオマス発電並びに市民への補助等により再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。また、浜松市同様、市の出資した地域新電力会社の先進事例を視察しました。



視察の様子（富士市・トイレトレーラー）

## 12月定例会審査報告

## 一般会計補正予算、工業団地造成事業会計補正予算等について

**問** 有害鳥獣捕獲活動事業について、今年度に捕獲されたイノシシは何頭か。また、今後の見込みは何頭か。

**答** 市の事業で捕獲された頭数は750頭である。また、県の事業で捕獲された頭数は598頭であり、合わせて1,348頭となっている。今年度の見込み頭数は、市の事業で1,100頭であり、残り4ヶ月で約350頭の捕獲を見込んでいる。

**問** 長命工業団地について、工場用地合計面積及び造成事業費総額はどれくらいか。

**答** 工場用地は81,420㎡であり、開発区域面積の約84%となっている。また、造成事業費の総額は、現時点では約12億3,100万円の予定である。

**問** 長命工業団地に整備予定の駐車場及び公園について、何台の駐車が可能か。また今後の利用計画はどうなっているか。

**答** 駐車台数は25台を計画している。公園の利用計画については、地元市民や工業団地の方々等の意見を聞きながら、今後検討していきたい。



現地調査の様子(長命工業団地造成予定地)

## 行政視察報告 11月13日～15日

## 《佐賀県唐津市》

市町村合併後、旧市町で異なっていた水道料金の基準額を5年で統一。また、老朽管や設備の更新のため財源不足が見込まれることから、今年度6月分から約2.2%値上げの料金改定を行っています。当市においても、水道料金の統一は避けて通れない課題であり、市民に対してわかりやすい説明を行いながら、統一へ向けての協議や検討が必要であると感じました。

## 《佐賀県佐賀市》

地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的価値の高い建造物とが一体となった歴史的風致が形成され、維持及び向上が図られています。また、歴史的古民家をあえて文化財指定せずリノベーションし、民間のテナントの誘致を行い、賑わいの創出を図っています。当市も古い土蔵などが多く残っており、その雰囲気を残したまま、現代にマッチした店舗への展開や、市民主体の歴史的まちづくりなど、新たな方向性を見いだせると感じました。

## 《福岡県久留米市》

商業地域である中心市街地の求心力の低下の起爆剤として、平成28年に「久留米シティプラザ」が開館となり、その集客効果を活かした商店街の活性化が図られております。当市においても、中心市街地の活性化は大きな課題であり、今後の施設整備や商店街の再生に大変参考になるものでした。



視察の様子(久留米市・久留米シティプラザ)

12月定例会審査報告

一般会計補正予算等について

**問** 現在あだち保育園内にある地域子育て支援センターが廃止されることで、空きスペースができるが、この跡地利用については、どのように考えているか。

**答** 面積が約50平方メートルほどの部屋であるが、保育士の確保状況を見ながら、待機児童対策の観点から保育室として活用したいと考えている。

**問** カントリーパークとうわのテニスコートの夜間照明の料金は、現存の他のテニスコートと同一料金となるのか。

また、利用者の増加による照明設置だと思いが、利用実績は。

**答** 現在、照明設備のある城山庭球場や岩代テニスコートと同じ料金設定としたものである。

また、利用者については、平成28年度は、年間約4,700人程度であったが、平成29年度は、5,700人ほどに増えている。

**問** 地域包括ケアシステムの深化・推進のための講演会の内容は。

**答** 地域包括支援センターや認知症初期集中支援チーム、認知症地域活動推進委員などの活動等に対し、知識を深めていただくもので、基本的には専門職向けの内容であり、認知症の方への支援に繋げていきたいと考えている。



机上審査の様子

行政視察報告 11月13日～15日

＜岐阜県大垣市＞

「子育て日本一を目指した各種施策」では、家庭の家事・育児を援助する「エンゼルサポーター」派遣、親子での路線バス利用無料化、ひとり親家庭の学習支援などが行われています。

「奥の細道むすびの地記念館」では、地元小学6年生を招待し、市先人の学習、俳句体験などを通じ、郷土理解を深めています。館内に飲食店は無く、土産店も市内回遊を促すため、必要最低限のみとされ、今後の施設整備モデルの一つです。

＜岐阜県岐阜市＞

「子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”」では、0歳～成人前のあらゆる子ども・若者に寄り添い、発達段階に応じた継続的な支援を行うため、心理士や保健師などの資格職員を雇用し、カウンセラーや児童精神科医などの専門アドバイザーを配置し、ワンストップで充実した対応が行われています。

＜愛知県大府市＞

「認知症対策事業」では、国立長寿医療研究センターと共同で認知症予防プログラムを作成し、まち全体で認知症予防に向けたスキーム作りを行うと

もに、高齢者が自身の活動を記録し、具体的な予防につなげるための「コグニノート」を活用しています。

＜静岡県浜松市＞

「浜松中部学園」は、学年を緩やかな4-2-3制で編成する施設一体型の小中一貫校で、広い年代が集まることで児童生徒の成長が促され、教員も小・中学校互いの専門性を持ち寄ることで、指導観、こども観等が変わり、大きな刺激となっているとのことでした。



視察の様子（浜松市・浜松中部学園）